



SASAYAMA public elementary school

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成 30 年 5 月 31 日発行

平成 30 年度 第 3 号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

気持ちのよいあいさつ

副校長 坂井 敦

5月の笹山小学校は、いつにも増して子どもたちの声が、響き渡る1ヶ月でした。教室や音楽室からは、応援練習の声、体育館や校庭からは、演技や競技の音楽とともに気合の入った声が聞こえてきました。朝学習の前、中休み、昼休みもリレーや応援団、開閉会式の練習が日替わりで続き、体育の練習だけでなく休み時間もずっと忙しいというササリンピックモードの1ヶ月でした。

そして、ササリンピック当日には、一人ひとりのがんばりと、みんなのがんばりが結集し、大きな成果につながりました。保護者、地域の皆様からは多くの声援と拍手をいただき、子どもたちは満足感を得ることができました。準備や片付け、パトロールなど地域の方々にはご協力をいただき本当にありがとうございました。そして今年は、たくさんの中学生にも用具係などを手伝ってもらいました。多くの皆様に改めまして深く感謝申し上げます。

さて6月は、ササリンピックモードから、少し落ち着いた雰囲気でご過ごせるかと思えます。私も副校長として2カ月が経過し、少しずつ新しい仕事に慣れてきたので、もう少し余裕をもって過ごしたいと願っているところです。

自校昇任として笹山小学校に残れることになり、嬉しかったことの一つに、朝の昇降口での登校指導がまたできるということがあります。昨年度までは児童支援専任として子どもたちの朝の様子を見てきましたが、今年度も副校長としてあいさつを交わせることができるので嬉しく思っています。「元気よく自分からあいさつしてくれる子。」「腰を深く曲げてあいさつしてくれる子。」「声は小さいけれど、はにかみながら目を合わせてあいさつしてくれる子。」「あいさつよりも先に『先生～』と話し始める子。」「捕まえた生物を自慢げに持ってくる子。」「昇降口が開くまでの子どもとのやりとりはとても楽しい時間です。

前任校の上白根小学校では、6年生の担任が多かったのですが、ある年の4月にこんなことを言われたことがあります。「私、1年生の時からずっと坂井先生のクラスになりたかったんです。」と嬉しいことを言ってくれる子がいました。理由を尋ねると「1年生の時に初めて話した先生なんです。」とのこと。驚きとともにあいさつから始まる繋がりには、本当にあるのだなと思いました。自分では全く覚えていませんが、何気ない朝の会話が、子どもにとって強い思い出になることもあるのだと、言葉の重みも改めて感じました。

そんなことがあって以来「おはようございます」「さようなら」だけでなく、もう一言、二言を付け加えるようになりました。よく考えてみると英語で「Good morning」を言い合ったあとは必ず「How are you?」と続きます。1往復で終わっていないのです。

本校では、前期の重点生活目標「気持ちのよいあいさつをしよう」に合わせて各クラスで取組目標を決めて、あいさつ運動に取り組んでいます。しかし、自分から元気よく「おはようございます」と言う1往復だけのあいさつで終わっていることが多いです。そこで「How are you?」にあたる次の一言を言って、1往復のあいさつから脱却してほしいと願っています。給食室前では、調理員さんに給食当番みんなで「ごちそうさまでした。」と言ったあとに「今日もおいしかったです。」と付け加える子もいます。1往復で終わらないあいさつは、とても気持ちがいいものです。それが、数人ではなく、全員が自然に言えることができるようになるとすばらしいと思います。なので、これからも毎朝の昇降口前で、気持ちのよいあいさつとなるよう声をかけていきます。

今月も様々なご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。